



JASDI

平成 27 年度第 1 回 JASDI フォーラム

テーマ：『副作用情報はどこから来て、どこへ行くのか』
—収集した情報と提供する情報をつなぐ—

医薬品を適正に使用するためには、副作用の発現を最小限に抑え、有効性を最大限に発揮させる使い方に関する情報が必要である。そのためには、製造販売後に使用された医薬品の実態について情報を収集し、解析・評価された結果が医療現場にフィードバックされなければならない。

医薬情報担当者は、GVP省令で「医薬品の適正使用に資するために、医療関係者を訪問すること等により安全管理情報を収集し、提供することを主な業務として行う者」と定義されているように、医薬品の適正使用に重要な役割を果たしている。しかしながら、収集した情報が医療関係者に十分伝わっていないと指摘されている。今回は、真に医療の現場に求められる医薬品の適正使用情報が適切に伝達されるよう、収集から結果のフィードバックに至るまでのサイクルに焦点をあてて、薬剤師と企業が連携して取り組む課題と解決策について討議を行いたい。

《プログラム》

日 時： 2015 年 7 月 25 日（土） 13:30～16:55

主 催： 一般社団法人日本医薬品情報学会

(JASDI : Japanese Society of Drug Informatics)

後 援： 日本製薬工業協会

公益財団法人 MR 認定センター

会 場： 東京大学医学部教育研究棟 14 階 鉄門記念講堂

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_02_09_j.html

13:30～13:35 開会挨拶 (社)日本医薬品情報学会副理事長 高柳 輝夫

座長： コクボ教育企画 小久保 光昭

13:35～14:15 【基調講演】「服薬指導とは本来何をすべきか。患者にとって必要な医薬品情報のあり方と薬剤師の役割」

カイエー薬局グループ つばさ薬局 抜井留理子

14:15～14:45 【特別講演】『患者思考』の情報提供実現のために」

中外製薬株式会社 執行役員 医薬安全性本部長 総括製造販売責任者
大箸 義章

14:45～14:55 (休憩)

座長： 三楽病院 薬剤科 永野 靖典

14:55～15:10 講演1 「D I 室からみた医薬品の副作用情報を取りまく現状と課題」
杏林大学医学部付属病院 薬剤部 若林 進

15:10～15:25 講演2 「医薬品の安全管理情報の収集と提供を担うMRの資質向上」
セルジーン株式会社 血液腫瘍事業部 営業本部 人材開発担当部長
神田 明

15:25～15:40 講演3 「製薬企業の使命と医薬品の適正使用情報のあり方について」
日本製薬工業協会 常務理事 田中徳雄

15:40～15:50 (休憩)

15:50～16:50 総合討論

『収集した副作用情報が、医薬品の適正使用情報として提供されるまで』

司会 公益財団法人 MR 認定センター 近澤 洋平

16:50～16:55 閉会挨拶 (社)日本医薬品情報学会フォーラム委員長 大野 能之

参加費：当日会場にてお支払いください。

日本医薬品情報学会会員	3,000 円
〃 賛助会員社員	3,000 円 (当日会社名を確認させていただきます)
非会員	5,000 円
一般市民 (患者団体の方)	1,000 円
学生	1,000 円

参加申し込み：

JASDI ホームページよりお申込みください。

<http://www.JASDI.jp/>

本フォーラムは、「医薬品情報専門薬剤師」の認定及び更新のため、(社)日本医薬品情報学会が指定する講演会です。

本フォーラム1回の出席、「受講証明書」をもって認定単位「5単位」が、また「受講証明書と指定の研修レポートの提出(証明書)」をもって更新認定単位「5単位」が取得できます。研修レポートの提出など詳細は、JASDI ホームページでご確認下さい。

- 希望者には、公益財団法人日本薬剤師研修センターの「認定薬剤師研修受講シール2単位」を配付致します。